

伝統芸能の継承 神楽をイメージした ダンス発表

神楽のイベントに 参加して

演劇部2年
村田 結衣

今年の夏、畑中大河さんから「神楽のイベントに演劇部として参加してほしい」というお話がありました。畑中さんは演劇部の大先輩であり、現代は多くの作品のメイキングキャストとして活躍されました。また最近では折八東会館にいらして、演技、発声、姿勢などについて助言してくださいました。歌舞伎にも詳しく、本校の作品中の歌舞伎の手法を取り入れた場面をとっても丁寧に指導してくださいました。

今回の内容は、継承が危ぶまれている伝統芸能を守っていくというメッセージを演劇的なダンスで表現するというもの。出来るのかと不安でしたが、同時に「面白そう、やってみたい」と感じました。そして十一月頃から本格的な練習が始まりました。

練習は、畑中さんのシナリオに沿って、現在東京の大学で舞踊を専攻している小亀美和先輩が振付をし、その動画面を見ながら振り幅を覚えていくという形でした。自信のない部分は畑中さんが動画を撮ってくださいました。小亀さんに見ていただき、本番数日前に全員で初めて動きを合わせた時には、腕の伸ばし方など自分達では気づかなかった部分も直していただき、完成度が上がりました。

当日、予想をはるかに超える多くの方が集まり驚きました。しかし、自主公演や大会を経験していたお陰で、程よい緊張感の中で集中力を高めることができました。本番は練習通りで、多くの拍手と励ましのお言葉がいただきました。大きなイベントのオーブニングを担うのにも緊張しましたが、コンテンツポラーリ調のダンスに神楽の動きを取り入れた振付で、畑中さんを始め神楽の皆さんの伝統芸能復興への願いや、現代との交わりなどを上手く表現できたと思います。

今回、多くのことを学びました。間近で見た畑中さんの動きは、軸がしっかりしていながら指先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

これからの舞台で生かせるような貴重な体験をさせていただきます。

先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

全国大会書道パフォーマンス甲子園 全国高等学校総合文化祭に参加して

書道部顧問 諏訪内 博彦

書道部は日頃、作品制作と書道パフォーマンスの両輪で活動しております。

ものごとにはよく見えないこと、よく見えないこと、かんじんなことは目に見えないんだよ」という言葉から「心眼」という文字を隷書で揮毫しました。背景は大切なものが心の中で光っている様子表現しました。そして目に見えない大切なものをしなやかに力強く表現しました。

私は愛情や友情、友と過ごした時間、思いやりなど、それらは目に見えないものですが、人生において最も大切なものだと思います。今年生徒たちが今までの積み重ねた演出も工夫しながら取り組みました。そのチャレ

結果は十九位でしたが今回の大会をおして、「大切なものは目に見えない」の中に友との絆が生まれたいと思います。

次は全国高等学校総合文化祭が今年、香川で開催されました。書道部門は青森県からは五名出品できます。本校からも昨年の県高総文祭で優秀賞をいただいた部員が選ばれました。

作品は郷土作家の太宰治作「走れメロス」を揮毫しました。本人は作品構成や墨量に注意しながら制作しました。審査員からは「さわやかな線質で題材に合っている」とコメントをいただきました。全国からは約四百点の作品が展示されましたがどの作品もレベルが高く日頃の取り組みの成果が感じられました。今後書道部のレベルアップに努めて行かなければと痛感しました。

書道部門は展示以外にも毎回、生徒の交流会を設けています。今年香川県丸亀市の伝統工芸で

ある「丸亀うちわ」にちなみ、オリジナルうちわを二本制作しました。とても素敵な思い出になりました。このように今年も全国大会に「書道パフォーマンス」と「高総文祭」の二大会に参加することができ、書道部としても自信につながったと思います。今後とも後輩たちの活躍に期待してください。さすれば幸いです。

本校のパフォーマンスのテーマは「目に見えない大切なもの」でした。星の王子さまという作品を参考に、今回のパフォーマンスができました。大字は王子さまが作中で言った「心で見なくちゃ、

守っていくというメッセージを演劇的なダンスで表現するというもの。出来るのかと不安でしたが、同時に「面白そう、やってみたい」と感じました。そして十一月頃から本格的な練習が始まりました。

練習は、畑中さんのシナリオに沿って、現在東京の大学で舞踊を専攻している小亀美和先輩が振付をし、その動画面を見ながら振り幅を覚えていくという形でした。自信のない部分は畑中さんが動画を撮ってくださいました。小亀さんに見ていただき、本番数日前に全員で初めて動きを合わせた時には、腕の伸ばし方など自分達では気づかなかった部分も直していただき、完成度が上がりました。

当日、予想をはるかに超える多くの方が集まり驚きました。しかし、自主公演や大会を経験していたお陰で、程よい緊張感の中で集中力を高めることができました。本番は練習通りで、多くの拍手と励ましのお言葉がいただきました。大きなイベントのオーブニングを担うのにも緊張しましたが、コンテンツポラーリ調のダンスに神楽の動きを取り入れた振付で、畑中さんを始め神楽の皆さんの伝統芸能復興への願いや、現代との交わりなどを上手く表現できたと思います。

今回、多くのことを学びました。間近で見た畑中さんの動きは、軸がしっかりしていながら指先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

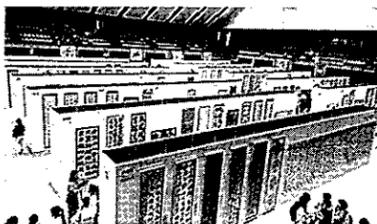
先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。

先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。



全国書道パフォーマンス甲子園作品



全国高総文祭香川大会書道部門展示風景



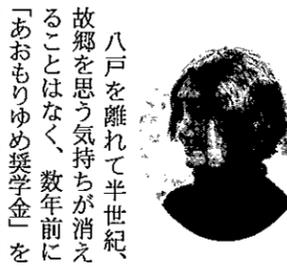
先までとても綺麗で、一つ一つの丁寧な動きに感動しました。小亀さんの動きはダイナミックかつ美しく、私達まで圧倒されました。また、神楽の組によって立ち方、目線、腕の伸ばし方などが全く違い、とても興味深かったです。そして、皆が一丸となって一つの作品を完成させた達成感、演劇と同じだと思えて、とても嬉しかったです。



八戸を離れて半世紀、故郷を思う気持ちが消えることはない、数年前に「あおもりゆめ奨学金」を設立しました。この奨学金は青森県内の高校生の学びたい、探究したい、挑戦したいなどの「これがしたい」をサポートする奨学金です。進学、留学、修業、弟子入りなど様々な「ゆめ」を応援します。学校の成績は選考に影響しません。経済的な支援だけでなく、新しい経験や知識に触れる機会をつくるなど「ゆめ」の実現へサポートをし、さらに奨学金が後進のために支える側になる「ゆめ」がゆめをつないでいく一仕組みです。

高校卒業後の「ゆめ」を応援する奨学金で、毎年2、3名に返済義務がない奨学金を給付しています。https://aomori-yume.or.jp/興味がある方はHPをご覧ください。

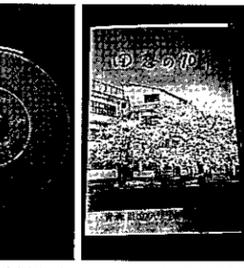
八戸を離れて半世紀、故郷を思う気持ちが消えることはない、数年前に「あおもりゆめ奨学金」を設立しました。この奨学金は青森県内の高校生の学びたい、探究したい、挑戦したいなどの「これがしたい」をサポートする奨学金です。進学、留学、修業、弟子入りなど様々な「ゆめ」を応援します。学校の成績は選考に影響しません。経済的な支援だけでなく、新しい経験や知識に触れる機会をつくるなど「ゆめ」の実現へサポートをし、さらに奨学金が後進のために支える側になる「ゆめ」がゆめをつないでいく一仕組みです。



あおもり ゆめ奨学金 坂回 千春 (高校28回生)

同窓会松友会 新役員紹介
任期令和7年8月31日から
令和9年総会前日2年間

会長 油川 育子 (高校回生)
副会長 三浦 文恵
副会長 高橋 智子
理事 高橋 眞理子
高砂 優子
田名部明美
大南 美幸



70周年を祝う歌 西條 悦子 (高校29回生)

監事 黒澤 美智子
西條 悦子
妻神 美穂子
伊藤 まり子
赤穂 清美
十日市裕恵
田名部雅子
矢田部裕美
大久保祐佳
古屋敷裕大
畑中 大河
木村 玲子
八田香菜子
田名部明美
大南 美幸
顧問 茂木 典子
同窓会松友会事務局

事務局 高橋眞理子
高橋 智子
伊藤まり子
十日市裕恵
田名部雅子
宇波美代子
奥寺 由美
八東高

追記
本会報原稿は、令和七年十二月上旬にご提出いただき、その後「青森県東方沖の地震」が発生したため、地震に関する報告等は含まれておりませんことをご了承願います。地震の影響で、母校は休校措置を余儀なくされましたが、校舎が耐震基準を満たしていることが確認されたのを受け、地震から六日後の十二月十五日より授業を再開することとなりました。矢部校長先生を始めとする教職員・関係各位の懸命な取り組みにより最短期間の再開となり、生徒の皆様笑顔と歓声が戻ってきました。また矢部校長先生からは、多くの皆様からのお見舞いに対する御礼のお言葉を頂戴したことをご報告申し上げます。

追記
本会報原稿は、令和七年十二月上旬にご提出いただき、その後「青森県東方沖の地震」が発生したため、地震に関する報告等は含まれておりませんことをご了承願います。地震の影響で、母校は休校措置を余儀なくされましたが、校舎が耐震基準を満たしていることが確認されたのを受け、地震から六日後の十二月十五日より授業を再開することとなりました。矢部校長先生を始めとする教職員・関係各位の懸命な取り組みにより最短期間の再開となり、生徒の皆様笑顔と歓声が戻ってきました。また矢部校長先生からは、多くの皆様からのお見舞いに対する御礼のお言葉を頂戴したことをご報告申し上げます。